

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871000287		
法人名	有限会社 さわやか荘		
事業所名	グループホーム さわやか荘	ユニット名	
所在地	〒304-0075 茨城県下妻市南原132-1		
自己評価作成日	平成28年5月25日	評価結果 市町村受理日	平成28年11月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&JigyosyoCd=0871000287-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年7月5日	評価機関 決 済 日	平成28年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

元気に過ごせるよう支援していきたいです

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所近くの砂沼の桜の名所である観桜苑には、菖蒲園もあり遊歩道が整備されていることから、散策するには安全な場所として四季折々に訪れているほか、散歩コースにもなっている下妻市ふるさと博物館は地域住民と触れ合う場所となっている。</p> <p>管理者や職員は、利用者の今までの暮らしぶりや言葉の言い回しなどを理解し、利用者と一緒にコミュニケーションが図れるように努めるとともに、一人ひとりの生活リズムに合わせて利用者本位に支援し、笑顔で元気に暮らしていくことを一番に考えながら取り組んでいる。</p> <p>自治会長が運営推進会議の委員を務めていることもあり、昨年の水害の際には事業所の避難先に地域住民が炊き出しをしてくれるなど、あらためて地域との協力関係を確認することができた。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日朝礼時に復唱し、確認している	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を管理者と職員で作成し、食堂の見易い場所に掲示するとともに、朝礼時や月1回の職員会議で確認して共有し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	去年の水害時避難した際、安全な場所に住んでいる地域住民の方が、すぐに連絡を下さり、さわやか荘の利用者分の食事を炊き出ししてくださいました	事業所は自治会に加入し、回覧板を回してもらったり、日頃から区長の協力を得て、去年の水害の際には近隣住民が事業所の炊き出しをしてくれた。 利用者と一緒に事業所周辺の散歩時や、近隣の下妻ふるさと交流館などに出かけた際に、地域住民と交流を図っている。 地域の散髪ボランティアが、低料金で夏は月1回、冬は月2回位の間隔で来所している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	避難訓練時に一緒に参加していただいたりしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	水害時の避難マニュアルをいろいろな方にききながら作成している	運営推進会議は家族等の代表や市職員、地域包括支援センター職員、地域住民、管理者で2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 事業所からは行事や利用者の状況報告、事業所の取り組み、外部評価の結果報告などをし、参加者と意見交換を行っている。 委員からの助言を受けて、水害時の避難マニュアルを作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議時他、相談しながら取り組むようにしている	市担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、管理者は電話だけでなく、要介護更新申請や補助金申請などで直接市窓口に出向き、担当者に問い合わせながら書類作成をしている。 生活保護受給者には、市の担当職員が定期的に来訪し、話を聴いているほか、管理者は市主催の高齢者虐待防止ネットワーク研修に参加して市担当者と情報交換をするなど、日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束（高齢者虐待含）の研修を定期的に行い確認し合っている	身体拘束をしないことを契約書に明記し、入居時に家族等に説明して同意を得ている。 管理者は新聞等の身体拘束の事例を基に、職員に身体拘束をしないケアへの理解を促しているほか、年1回から2回マニュアルに基づく内部研修を行ったり、毎月の職員会議でも取り入れることがあるなど、全職員が身体拘束の具体的な行為や弊害を理解している。 日中玄関は施錠せず、外に出てしまう利用者には、職員が寄り添いながら見守り支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を定期的に行い、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	研修は行っているが、実際活用した事はない		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	納得していただき契約を結んでいる	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に要望書を送付し、要望があった場合反映するようにしている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議時に設け、反映するようにしている	管理者は月1回の職員会議や日頃より、職員の意見や提案を聞くように努めている。 職員の意見を受けて、トイレの手洗いの水がはねて足元が滑り転倒しないよう、ペットボトルを利用してカバーを作るなど、利用者が安全で快適に過ごせるように工夫をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る限り行っている	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る限り行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市で1年に1度、虐待についての研修があり、交流し、話し合っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員が夜勤時等一对一の時に、聞いたりしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に聞き確認し、安心して入所していただくようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスが必要と感じた場合は提案としてお話しさせていただいている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ごはんの献立は何がいいかなど相談したりしながら生活を送っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やおたよりで、利用者の報告や一緒にお願ひできることを話し協力を得ている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	体調によってではあるが、外出支援等行っている	入居時の聴き取りや利用者との日々の会話などから、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 馴染みの理・美容室や店での買い物、外食、墓参り、自宅への外出や外泊などに家族等の協力を得ながら支援し、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にできることを行事として行うようにしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後に入所したところに訪問したりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成（見直し）時に聞き行っている	管理者と職員は、利用者との日常の関わりの中から一人ひとりの思いや希望の把握に努めている。 意思の表出が困難な利用者には、家族等の来訪時に話しを聴いたり、表情や仕草から思いや意向の把握に努め、管理者と職員で相談しながら、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に可能な馴染みのものを持ってきて引き続きつかっていただいたりしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人・ご家族・主治医に聞き把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成（見直し）時に担当者会議を開催し、ご家族やご本人の意見がある場合は組み込めるか話し合い作成している	介護計画は1年を基本とし、担当者会議で職員の意見を取り入れて計画作成担当者が作成し、家族等に確認を得ている。 3ヶ月毎にモニタリングを実施して短期目標は3ヶ月、長期目標は12ヶ月とし、利用者の心身の状態等に変化が生じた場合は、随時見直しをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に記録し、朝礼時に報告し合っており、必要時は見直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り行うようにしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	皆さんで飲んだペットボトルのキャップ集めを常時行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回市内のかかりつけ医が訪問して下さっている	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 かかりつけ医や協力医療機関への受診は職員が付き添っているほか、月2回の訪問診療を支援し、受診結果は家族等に電話で報告し、個人記録や申し送りノートに記載して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	相談し、かかりつけ医に診ていただいたりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供書を必ずつけ、利用者の状態がすぐ把握できるよう支援している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアは行ってません	看取り介護は行なわないことを入居時に家族等に説明し、同意を得ている。 事業所では「ターミナルケアについての指針」を作成し、看取り介護に近い状態になった場合は、医師や家族等と話し合っ、今後の方向性を確認している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習を受けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアル作成し、訓練も行っている	消防署立ち会いのもと、夜間や水害想定を含めた避難訓練を年2回、地域住民の参加を得て実施している。 災害に備え、利用者一人ひとりの洋服や下着の持ち出し用を準備しているほか、米や水、懐中電灯、おむつ類、毛布などを備蓄しているが、賞味期限や数量などの一覧表を作成して管理するまでには至っていない。	備蓄品は賞味期限や数量などを記載した一覧表を作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来る限り対応している	職員は処遇マナーに関する内部研修を行い、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに配慮している。 契約時に個人情報に関する家族等への説明と、書面にて同意を得ている。 個人情報に関する書類は、同じ敷地内にある管理者の自宅金庫に保管し、情報漏洩に注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事の献立や行事を一緒に考えていただいたりしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り支援するようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来る限り支援するようにしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に会話を楽しみながら食事をしている	利用者の嗜好を把握し、苦手な食材の場合には代替え食を用意して食事を楽しめるよう配慮している。 職員は食べこぼしや嚥下に注意しながら利用者と同じテーブルで食事を摂っている。 利用者は職員と一緒にテーブル拭きや食器拭きなど、能力に応じた役割を担っている。 雛祭りや誕生会、クリスマス会などには行事食を提供しているほか、外食やピザの宅配など、食事が楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック表をつけて把握に努めている	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけ把握に努めている	排泄チェック表から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミングを見計らってトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援している。 失敗してしまった時にはさりげなく声かけをして誘導しているが、拒む利用者には職員を替えるなどで対応している。 夜間に2名おむつを使用しているが、1名は日中布パンツやリハビリパンツを使用し、おむつは使用していない。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬も含め4日以上にならないよう、体操や整腸剤も活用している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	なるべくできる時間の中で入浴できるように支援している	入浴は週2回の午前と午後を基本とし、冬場のみ入浴剤を使用しているほか、5月の菖蒲湯などで入浴を楽しんでもらうよう支援している。 入浴を拒む利用者には強要せず、職員や時間帯を変えたり、利用者の好きな歌を歌うなどで誘導し、気分を変えてもらうようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日規則正しい生活ができるよう睡眠も同じような時間で休んでいただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全員が同じ薬局の担当さんに担当していただき、薬局でのチェック・職員のダブルチェックをおこなっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	不定期でカラオケ大会を行ったり、ドライブにいたりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花見にいたり、保育園の運動会に参加したりしている	天気のいい日には、利用者は職員と一緒に近隣への散歩を楽しんでいる。 年間行事計画を立てて、車いすの利用者も一緒に、砂沼観桜苑への花見や鬼怒川の鯉のぼり見学、下妻ふるさと博物館などに外出し、気分転換が図れるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る限り支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度計をチェックし、適温ですごしていただいたり、季節の花を植えたりしている	廊下には季節や行事毎の写真のほか、手摺を利用して取り組みハビリメニューを掲示している。 厨房では職員が利用者とは話をしながら調理をしており、食堂の壁面には、猫の写真や利用者職員で制作した紫陽花の折り紙作品を飾るなど、季節を感じることができる空間となっている。 居間兼食堂の一角には折りたたみ式のベッドを配置し、午睡時などに居室より安心できるという利用者に対応しているほか、ソファを配置して思い思いに寛ぐことができる環境となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子がおいてある	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に可能な馴染みのものを持ってきて引き続きつかっていただいたりしている	居室にはエアコンやベッド、カーテン、クローゼットが備え付けられている。 管理者は使い慣れた物品を持参して貰えるよう説明しており、利用者は寝具類や衣装ケース、筆筒、家族の写真、手作り作品、ぬいぐるみ、使い慣れた椅子、鏡台などを持ち込んで、居心地よく暮らせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の手すりを使いリハビリを行う等機械を使わず健康維持を促せるようにしている	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム さわやか荘

作成日 平成28年11月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄品は賞味期限や数量等を記載した一覧表を作成して管理することを期待する	備蓄品一覧表を作成する。	係りを作り、その都度リストチェックを行っていく。	1か月程度
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。